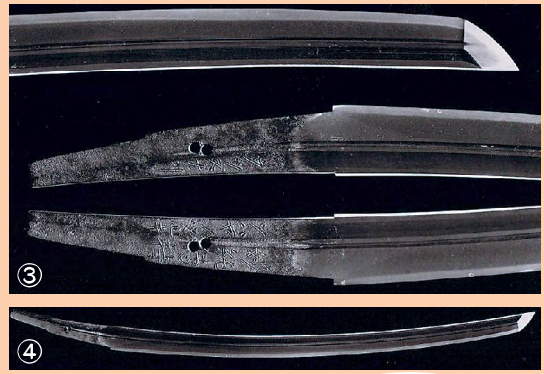




〔市教育委員会提供〕



清盛の時代から歴史を見守る三池の宝物

新連載
おおむた自慢

「清盛」時代の三池

今年NHK大河ドラマ「平清盛」が放映中ですが、九州は平家が落ち延びた終焉の地として様々な伝説が残されています。古くからの歴史を持つ三池地区にも、平清盛が活躍した平安時代後期、12世紀後半頃の宝物が、希少なが残っています。

普光寺木造薬師如来坐像

三池の平安時代遺産の第一は、「普光寺木造薬師如来坐像」(写真①)です。臥龍梅でも有名な普光寺境内の一段高いところ、木立の中にたえず本堂に安置されている、像高92cmの威厳溢れる、堂々とした仏像です。平安時代後期の姿を伝えるのは顔から胸、肩にかけての部分で、両手や下半身は中世に補修されたようで、現在は県指定文化財となっています。本堂そのものも、平安時代後期に盛行した「一間四面堂」という様式の建物ですが、建造は江戸時代初期とみられています。(写真②)

刀工「三池典太光世」

平清盛は、武士の棟梁として初めて政権中央に上り詰めた人物ですが、武士の魂といえば日本刀。三池は全国に名を馳せた刀工「三池典太光世」を輩出しています。その鍛冶場跡とされるのが、高泉のスーパー付近の住宅地の一角に当たる「典太屋敷跡」です。

平安時代後期の初代三池典太光世の作品として最も有名なのは、加賀前田家に伝わる太刀「大典太」で、現在は国宝に指定されています。大典太は、全体に身幅が広くて力強い姿をしており、平家の家宝だった太刀「小烏丸」とともに、日本刀の祖形をなすものと評価されています。徳川家康の愛刀「ソハヤノツルギ」(写真③、④ 国指定重要文化財 静岡市久能山東照宮蔵)も三池典太の作として有名です。

ここで紹介できなかった遺産が三池にはまだ多く伝存します。清盛の時代を思い、三池を訪ねてみませんか。

歓迎議長室



〈花の日にちなみ〉

6月13日、高取聖マリア幼稚園から、議会に花が贈られました。キリスト教では、6月第二日曜日が花の日とされています。

〈永年勤続等表彰〉

5月23日の全国市議会議長会第88回定期総会にて、金子恵美子前議員(写真前列左)が議員として20年以上の永年勤続表彰を、西山照清議長(同右)が正副議長4年以上の表彰及び同国会対策委員会副委員長としての感謝状をそれぞれ受けました。



編集後記

連載記事は「議員のよこ顔」が終了し、今号より大牟田の自慢できることを編集委員が取材して記事にする新連載を始めました。大牟田の素晴らしいところをたくさん紹介したいと思います。季節は、まぶしく暑い夏到来です。8月に行う第2回議会報告会でも、大牟田を深く思う皆様の、激しく熱いご意見が、多数寄せられることを期待しています。どうぞ会場にお越しください。お待ちしております。(T)

編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】平山光子
【委員】大野哲也 北岡あや 森 竜子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800
FAX 0944-41-2880
E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp